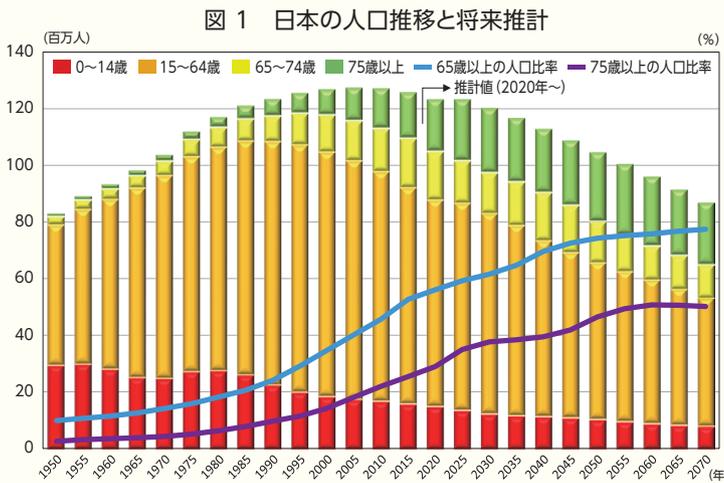


# 成長基盤を整える中核人材採用へ

「2025年問題」とは、いわゆる「第一次ベビーブーム」に生まれた世代が後期高齢者（75歳以上）になることで、日本の人口の約20%が後期高齢者となる超高齢化社会の到来を指します。これにより、雇用、医療、福祉など、社会全体に大きな影響が及ぶことが予想されます。

図1は日本の人口推移と将来推計を示しています。この図から、人口減少とともに、15～64歳の生産年齢人口も急速に減少することが明らかです。

雇用の観点では、現在の人手不足がさらに深刻化する見通しです。特に、企業の経営層を担う中核人材の不足が顕著になるとされています。そこで、中核人材の採用に効果的とされる「REVICareer（レビキャリア）」について、概要とその活用方法についてご紹介します。



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」より弊社にて作成

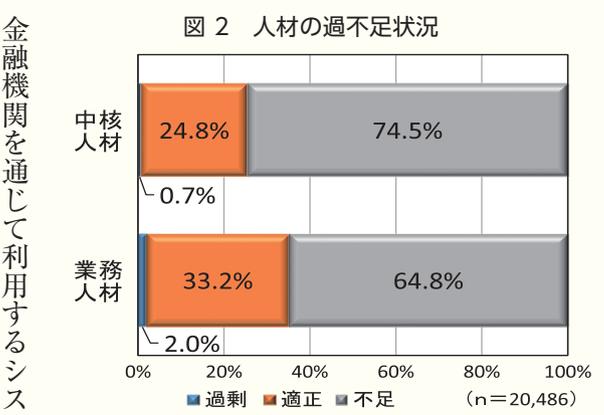
この取り組みは、地域企業の経営革新や生産性向上を支援し、地域経済の活性化を目指しています。この制度は、大企業のビジネスパーソンが自発的にキャリアデザインを行い、次のキャリアを築くことを支援する仕組みとして機能します。地域

- 金融機関を通じて利用するシステムとなっており、図3に示すような流れで人材マッチングが行われます。この制度の特長は次の3点です。
- ① 地域金融機関による人材マッチング  
この制度では、求人企業が地域金融機関の取引先です。求人企業の事業性評価や経営課題の分析をもとに、人材の紹介から採用後のフォローアップまでを一貫して支援します。地域金融機関が中心となり、経営課題に基づいた適切な人材紹介を行う点が大きな特長です。
  - ② 給付金制度  
大企業と地域企業の間で発生

注1 Revicareer：株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）が実施・運営を行う金融庁の補助事業として行われている、人材マッチングプラットフォーム。

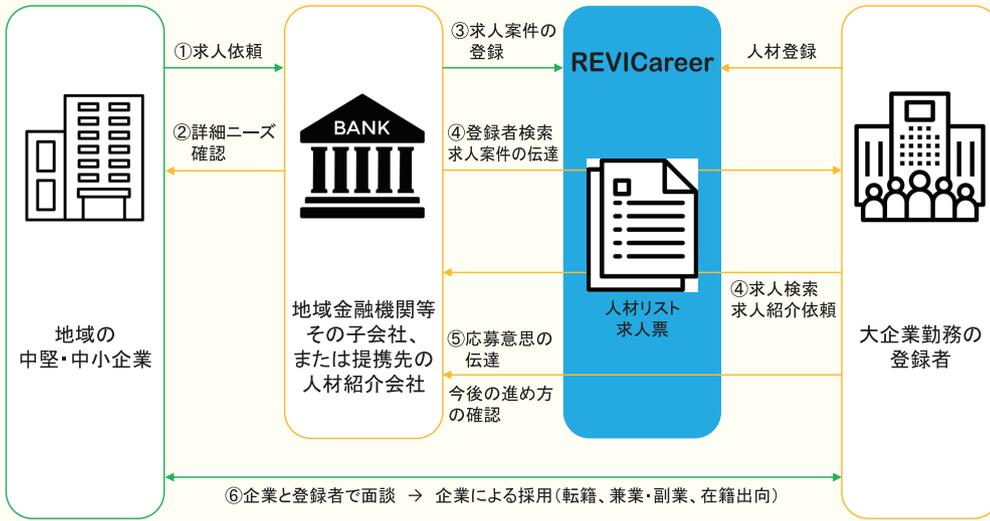
「不足感のある人材」  
図2では、中小企業における人材の過不足状況が示されています。業務人材（各部門や業務を遂行する担当者）の不足に加え、事業運営の中核を担う中核人材（管理職や将来の経営層候補）も不足していることがわかります。業務人材の不足に対しては、IT技術の導入や業務のデジタル化（DX）、外部への業務委

託などの手段で対応可能です。しかし、中核人材の不足に対しては、同じ方法では解決が難しい状況です。例えば、社内で人材を育成する方法がありますが、人材育成には時間とコストがかかるため、即戦力として活躍できる人材の確保が課題となります。そのため、即戦力となる中核人材を採用することが、企業のさらなる成長に直結すると考えられます。



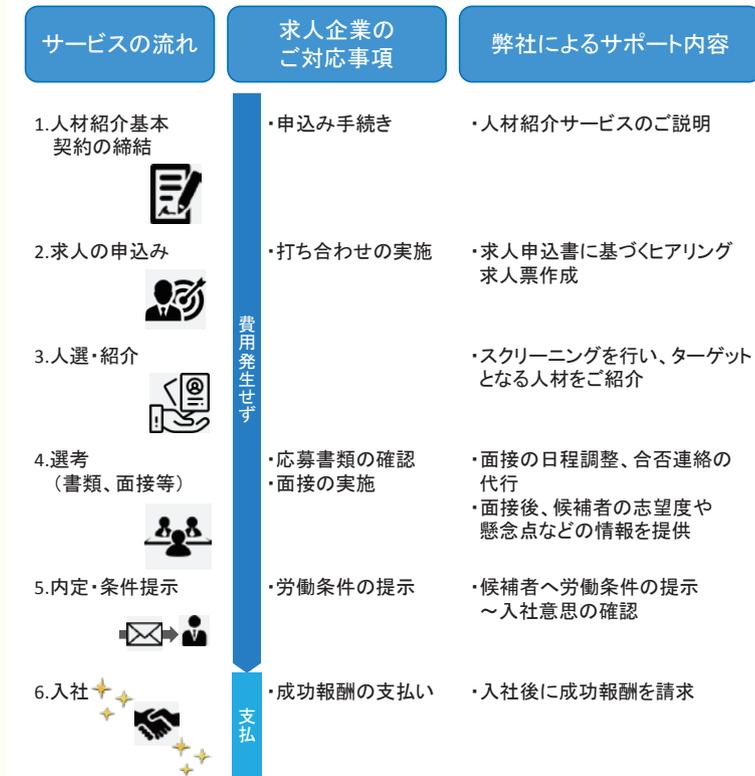
出所：株式会社データバンク「中小企業の経営課題とその解決に向けた取組に関する調査」

図3 REVICareerの制度の流れ



出所：「REVICareer」ホームページより弊社にて作成

図4 弊社の人材紹介サービスの流れ



出所：弊社にて作成

参考ホームページ  
REVICareer  
<https://www.revicareer.jp/>

京都総研コンサルティング  
調査部長 檜舘孝寿  
調査役 藤木雄介

このように、REVICareerは企業の成長を支える中核人材の確保に有効な手段です。詳細や具体的な導入支援については、ぜひお問い合わせください。

■ 弊社のサポート体制… 経営人材の採用に際し、社内の人事制度の見直しや既存社員との調整が必要な場合、弊社がそのプロセスをサポートいたします。

する年収のギャップ等を一定程度解消するために、求人企業に給付金が支給されます。支給額は採用形式により異なり、転籍型の場合は最大500万円、兼業・副業型や在籍出向型の場合は最大200万円が支給されま

す(注2)。この制度により、地域企業は経営人材の確保を容易に進めることができます。 ③登録者は地域経済活性化を志す経営人材 REVICareerの登録者は、一定の審査をクリアした地域経済の活性化を目指す意欲的な大企業のビジネスパーソンです。多くの登録者が、自らの経験とスキルを活かすことを目指してい

ます。 REVICareerは、全国1000を超える地域金融機関やそのグループ会社が登録している制度です。弊社では、この制度の中でも「転籍型」を取り扱っています。

REVICareer 活用のポイント

■ サービスの流れ… REVICareerは、地域金融機関が

中心となり、企業の経営課題の把握から適切な人材の紹介、採用後のフォローアップまで、一貫した支援を提供する中で活用する人材プラットフォームです。 ■登録者の特徴…このプラットフォームには、大企業で豊富な経験を積んだ50歳以上の方が多く登録されています。そのため、営業部門や管理部門の部長級や製造部門の管理職級として採用し、経営のサポート役としての活躍が期待されます。

注2 2024年12月末時点。今後変更される可能性があります。